

2012年5月8日
株式会社リクルート

**リクルート『大学生の就職内定状況調査（2013年卒）』
2012年 4月度 [速報版]
～4月1日時点での、就職志望の大学生の就職内定率は13.6%～**

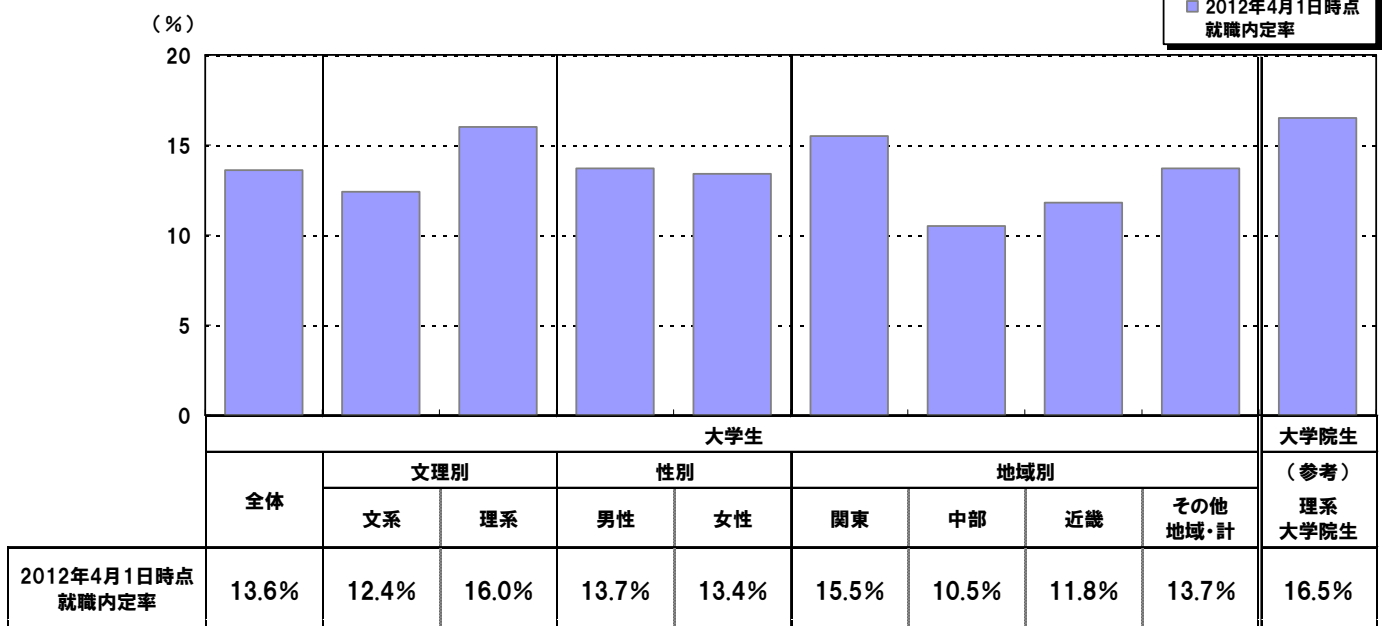
株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:峰岸 真澄)は、リクルート就職活動モニターの、大学生・大学院生を対象に調査を実施いたしました。

このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

※2012年5月8日に掲載しましたリリースの数値に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- 4月1日時点での就職志望者のうち、大学生全体の就職内定率（4月1日時点）は13.6%であった。
 - ✓文理別では、文系12.4%、理系16.0%。
 - ✓男女別では、男性13.7%、女性13.4%。
 - ✓地域別では、関東15.5%、中部10.5%、近畿11.8%、その他地域・計13.7%。
- 4月1日時点での就職志望者のうち、理系大学院生の就職内定率（4月1日時点）は16.5%で、大学生全体の13.6%より2.9ポイント高かった。

■『4月1日時点の就職内定率(※1)』(就職志望者/単一回答)



※1:「就職内定率」は、4月1日時点での就職志望者(「民間企業に就職したい」「公務員として就職したい」「教員として就職したい」「医師・歯科医師・看護師として就職したい」「左記以外で民間企業ではない組織・団体に就職したい」のいずれかを選択した学生)のうち、4月1日時点までに内定取得経験のある者の割合

◀地域区分の内訳(以降のページも同様)▶

関東=茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部=新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県

近畿=三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

その他地域・計=「関東」「中部」「近畿」以外

【本件に関するお問い合わせ先】
https://www.recruit.jp/form/inquiry_press.php

【調査概要①】

調査名 : 大学生の就職内定状況調査 (2013年卒)

調査目的 : 2013年卒業予定の学生について以下の推移を把握し、関係各位の参考に供する

1)	当月の就職志望率	=	B: 当月の就職志望者数 当月、就職を志望している者	÷	A: 当初の就職意向者数 当初(※1)の志望進路が 「就職(※2)」+「未決定」	…P.4
2)	当月の就職活動実施率	=	C: 当月の就職活動実施者数 当月、就職活動を実施している者	÷	B: 当月の就職志望者数 当月、就職を志望している者	…P.5
3)	当月の就職内定率	=	D: 当月の内定取得者数 当月までに、内定(内々定)取得経験のある者	÷	B: 当月の就職志望者数 当月、就職を志望している者	…P.6
4)	当月の内定後就職活動実施率	=	E: 当月の内定後就職活動実施者数 内定(内々定)取得経験のある者のうち、 当月就職活動を実施している者	÷	D: 当月の内定取得者数 当月までに、内定(内々定)取得経験のある者	…P.6
5)	当月の内定辞退率	=	F: 当月の内定辞退者数 当月までに、内定(内々定)辞退経験のある者	÷	D: 当月の内定取得者数 当月までに、内定(内々定)取得経験のある者	…P.7
6)	当月の進路確定率	=	G: 当月の進路確定者数 当月、進路が確定している者	÷	A: 当初の就職意向者数 当初(※1)の志望進路が 「就職(※2)」+「未決定」	…P.8

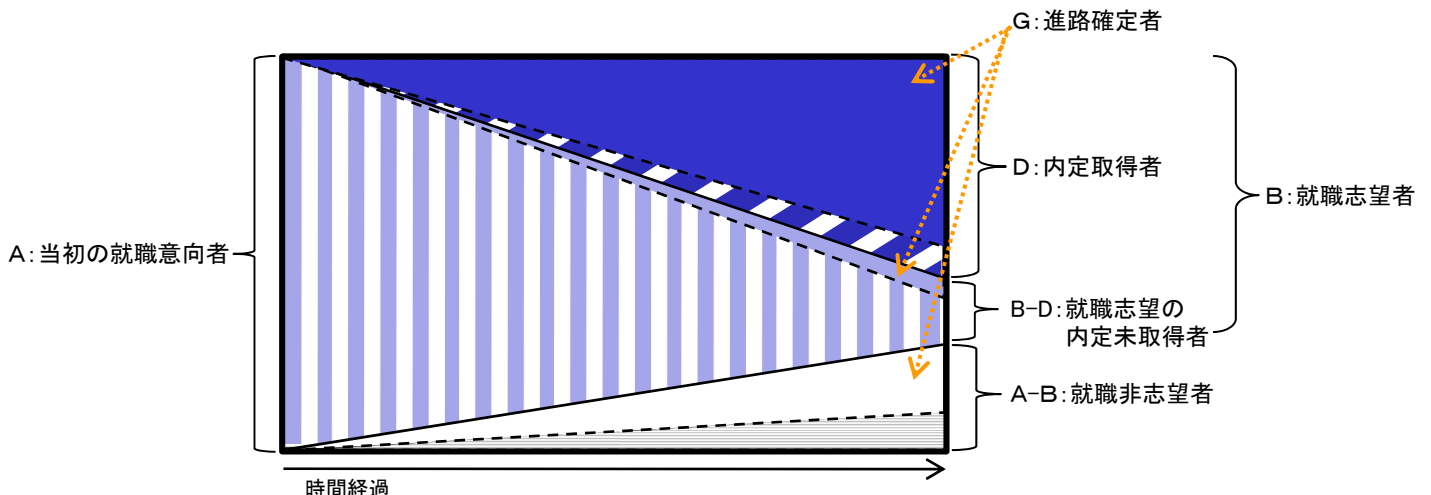
※1: 本調査のモニター募集時
(詳細はP.3をご参照ください。)
※2: 民間企業等への就職

補足

- 本調査は、一般的な就職内定率 (D/B) に加え、就職を志望しなくなった者 (A-B) の割合や、内定取得者 (D) のうち辞退した者、就職活動を継続している者の割合、また当初の就職意向者のうち、進路 (就職以外も含む) が確定した者 (G) の割合を定点観測することにより、当初の就職意向者の進路決定プロセスを把握する

- ✓ 進路確定のプロセスは多様であるため、各ゾーン (D、B-D、A-B) の矢印の単色塗りつぶし部分 (G) に進路確定者が、縞模様の部分に進路未確定者が、それぞれ存在する

* 下記の図は模式図であり、実際のデータに基づく推移を反映したものではない



【調査概要②】

調査方法：WEBアンケート

調査対象：リクナビ2013(※1)会員の大学生および大学院生から調査モニターを募集し、モニターに登録した2013年卒業予定の男女5,510人（大学生4,649人 大学院生[理系]763人）

※1：リクナビ：株式会社リクルートが開設している、就職活動を支援するサイト
<http://job.rikunabi.com/2013/>

調査期間：2012年4月10日～2012年4月16日

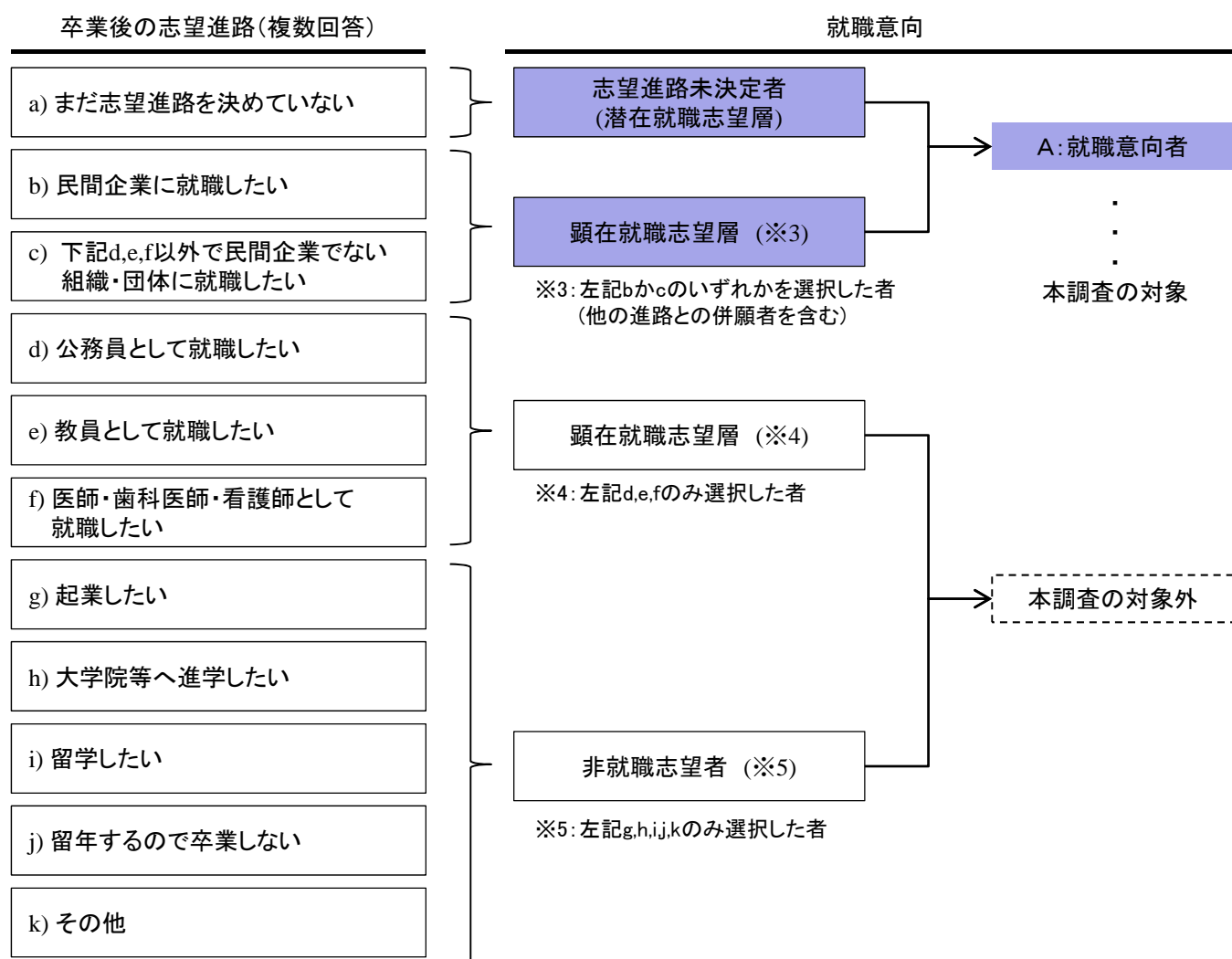
集計対象：大学生(※2)：1,945人（回収率 41.8%） / 大学院生[理系]：397人（回収率 52.0%）

※2：大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体について、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「平成23年度学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

参考：モニターの募集について

2月25日～3月26日に募集し、「卒業後の志望進路（複数回答）」の回答状況によって対象を抽出

◆調査モニターの抽出条件



《調査結果を見る際の注意点》

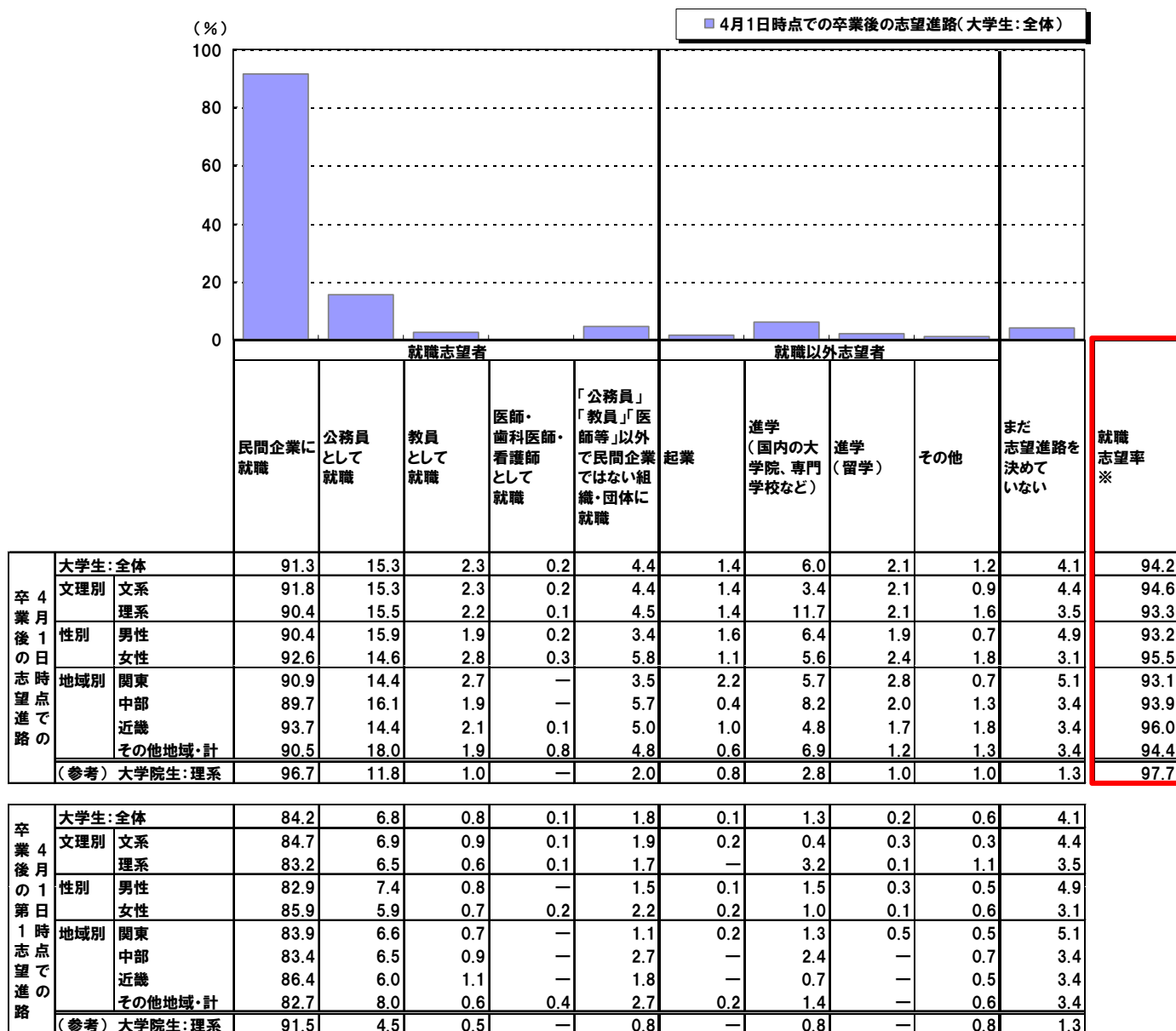
%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある

1) 卒業後の進路 就職志望率（4月1日時点）

- 大学生全体の就職志望率（4月1日時点）は94.2%であった。
- 理系大学院生の就職志望率（4月1日時点）は97.7%であった。

■『4月1日時点での卒業後の志望進路』（全体/複数回答）

■『4月1日時点での卒業後の第1志望進路（最も志望度が高かった進路）』（全体/単一回答）



※「就職志望率」は、当初就職意向者のうち、4月1日時点での就職志望者（「民間企業に就職したい」「公務員として就職したい」「教員として就職したい」「医師・歯科医師・看護師として就職したい」「左記以外で民間企業ではない組織・団体に就職したい」のいずれかを選択した学生）の割合

2) 就職活動の実施状況 就職活動実施率（4月1日時点）

- 4月1日時点での就職志望者のうち、大学生全体の就職活動実施率（4月1日時点）は95.8%で、3月1日時点に比べ、2.8ポイント下がった。
- 4月1日時点での就職志望者のうち、理系大学院生の就職活動実施率（4月1日時点）は95.6%で、3月1日時点に比べ、3.2ポイント下がった。

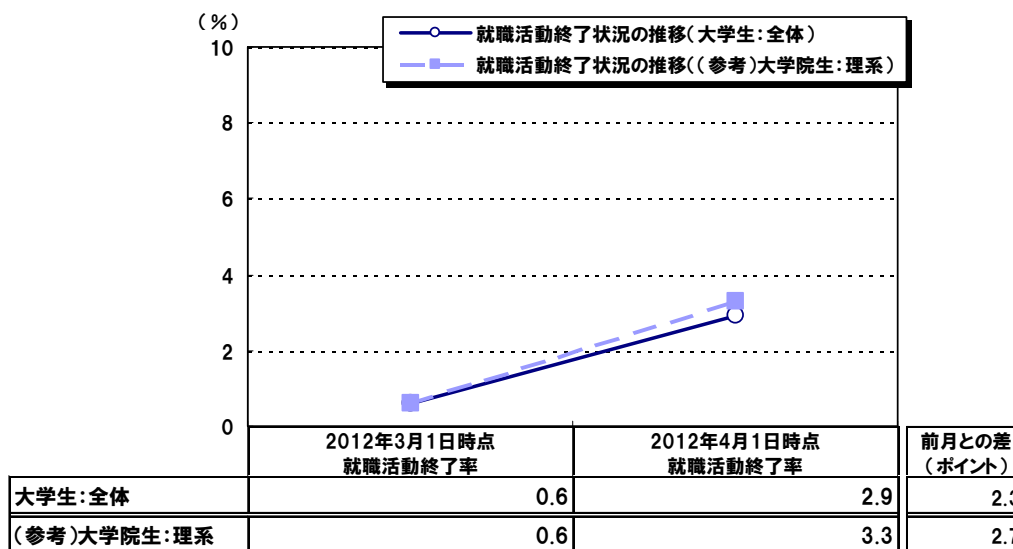
■『就職活動実施率(※)の推移』(就職志望者/単一回答)

		2012年3月1日時点 就職活動実施率		2012年4月1日時点 就職活動実施率		前月との差 (ポイント)
大学生: 全体		98.6	95.8			▲ 2.8
文理別	文系	98.8	96.3			▲ 2.5
	理系	98.3	94.7			▲ 3.6
性別	男性	98.2	95.4			▲ 2.8
	女性	99.2	96.3			▲ 2.9
地域別	関東	98.4	95.0			▲ 3.4
	中部	98.5	95.8			▲ 2.7
	近畿	99.2	97.1			▲ 2.1
	その他地域・計	98.4	95.6			▲ 2.8
(参考)大学院生: 理系		98.8	95.6			▲ 3.2

(%)

- 4月1日時点で「就職活動をしていたが、終了した」と答えた大学生は、就職志望者の2.9%で、3月1日時点に比べ、2.3ポイント上がった。
- 4月1日時点までに「就職活動を終了した」と答えた大学生の活動終了時期は、2012年3月が50.9%、同4月（1日）が37.4%であった。

■『就職活動終了状況の推移』(就職志望者/単一回答)



□参考:『就職活動終了者の終了時期』(就職活動終了者/単一回答)

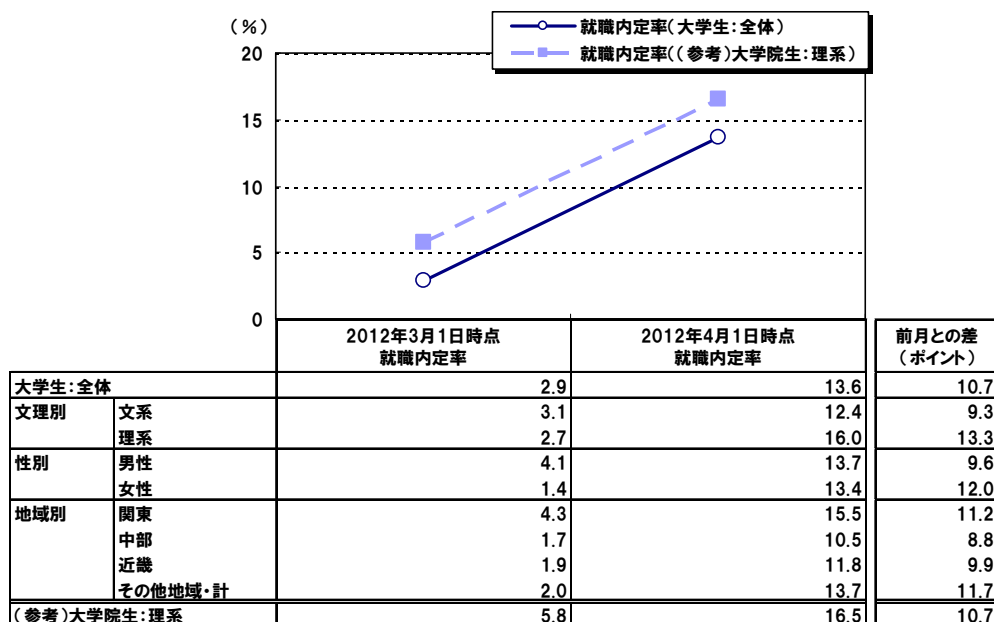
	(%)					
	2011年 11月以前	2011年 12月	2012年 1月	2012年 2月	2012年 3月	2012年 4月(1日)
大学生: 全体	—	2.3	—	9.3	50.9	37.4

※「就職活動実施率」は、当該月1日時点での就職志望者（「民間企業に就職したい」「公務員として就職したい」「教員として就職したい」「医師・歯科医師・看護師として就職したい」左記以外で民間企業ではない組織・団体に就職したい）のいずれかを選択した学生）のうち、当該月1日時点で就職活動を実施している者の割合

3) 内定（内々定）の状況 就職内定率（4月1日時点）

- 4月1日時点での就職志望者のうち、大学生全体の就職内定率（4月1日時点）は13.6%で、3月1日時点に比べ、10.7ポイント上がった。
- 4月1日時点での就職志望者のうち、理系大学院生の就職内定率（4月1日時点）は16.5%で、3月1日時点に比べ、10.7ポイント上がった。

■『就職内定率の推移(※1)』(就職志望者/単一回答)



※1:「就職内定率」は、当該月1日時点での就職志望者(「民間企業に就職したい」「公務員として就職したい」「教員として就職したい」「医師・歯科医師・看護師として就職したい」「左記以外で民間企業ではない組織・団体に就職したい」のいずれかを選択した学生)のうち、当該月1日時点までに内定取得経験のある者の割合

4) 内定（内々定）の状況 内定後就職活動実施率（4月1日時点）

- 4月1日時点での大学生全体の就職志望者の内定後就職活動実施率(※2)（4月1日時点）は80.6%で、3月1日時点に比べ、3.9ポイント下がった。
- 4月1日時点での理系大学院生の就職志望者の内定後就職活動実施率（4月1日時点）は81.3%で、3月1日時点に比べ、8.0ポイント下がった。

■『4月1日時点の内定(内々定)の取得の有無別の就職活動の実施状況』
(就職志望者/単一回答)

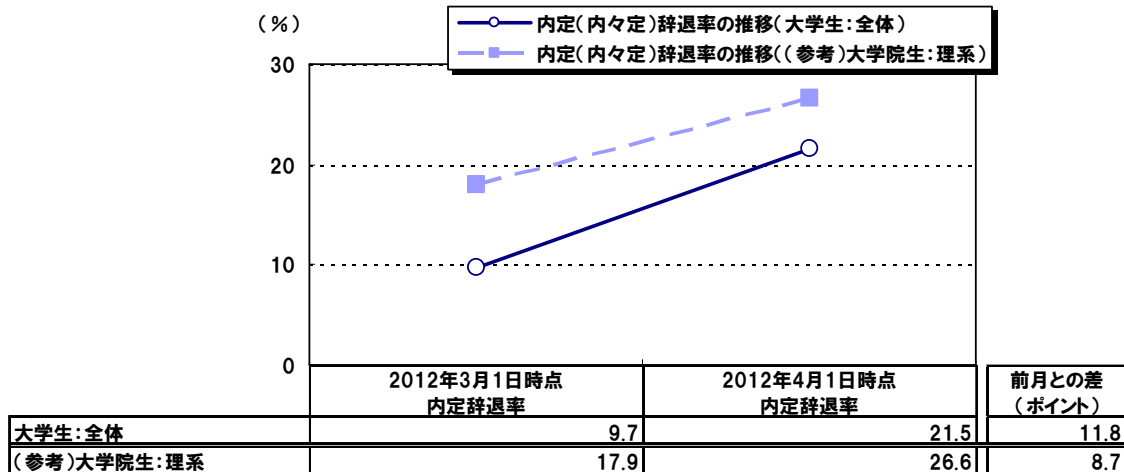
		(%)		
		2012年3月1日時点 就職活動実施率	2012年4月1日時点 就職活動実施率	前月との差 (ポイント)
大学生:全体		98.6	95.8	▲ 2.8
内定(内々定)の 取得の有無別	内定取得あり	84.5	80.6	▲ 3.9
	内定取得なし	99.0	98.2	▲ 0.8
(参考)大学院生:全体		98.8	95.6	▲ 3.2
内定(内々定)の 取得の有無別	内定取得あり	89.3	81.3	▲ 8.0
	内定取得なし	99.3	98.5	▲ 0.8

※2:「内定後就職活動実施率」は、当該月1日時点までに内定取得経験のある者のうち、当該月1日時点で就職活動を実施している者の割合

5) 内定（内々定）の状況 内定辞退率と内定取得社数（4月1日時点）

- 内定（内々定）を取得した大学生の4月1日時点での内定（内々定）辞退率（4月1日時点）は21.5%で、3月1日時点に比べ、11.8ポイント上がった。
- 内定（内々定）を取得した理系大学院生の4月1日までの内定（内々定）辞退率（4月1日時点）は26.6%であり、3月1日時点に比べ、8.7ポイント上がった。

■『内定（内々定）辞退率の推移』
（内定取得者/単一回答）

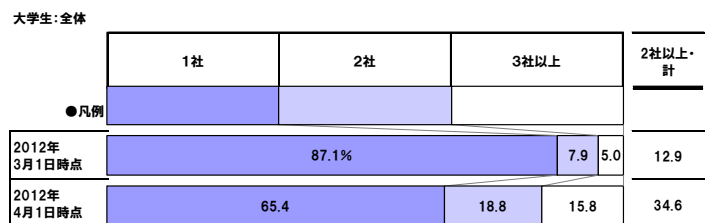


- 4月1日時点までの内定（内々定）取得社数の平均は、大学生全体では1.65社、理系大学院生は1.52社であった。
- 大学生の内定（内々定）取得社数の内訳をみると、4月1日時点では、2社以上が34.6%で、3月1日時点に比べ、21.7ポイント上がった。

■『4月1日時点までに内定（内々定）を取得した社数』
（内定取得者/実数回答）

		2012年4月1日時点 (%)			
		平均(社)	1社	2社	3社以上
大学生:全体		1.65	65.4	18.8	15.8
文理別	文系	1.81	61.2	18.6	20.2
	理系	1.40	72.3	19.1	8.7
性別	男性	1.65	65.3	20.6	14.1
	女性	1.65	65.5	16.4	18.1
地域別	関東	1.68	62.3	23.3	14.5
	中部	1.44	77.9	9.0	13.1
	近畿	1.65	76.1	5.2	18.7
	その他地域・計	1.68	55.4	27.3	17.3
(参考)大学院生:理系		1.52	73.4	12.5	14.1

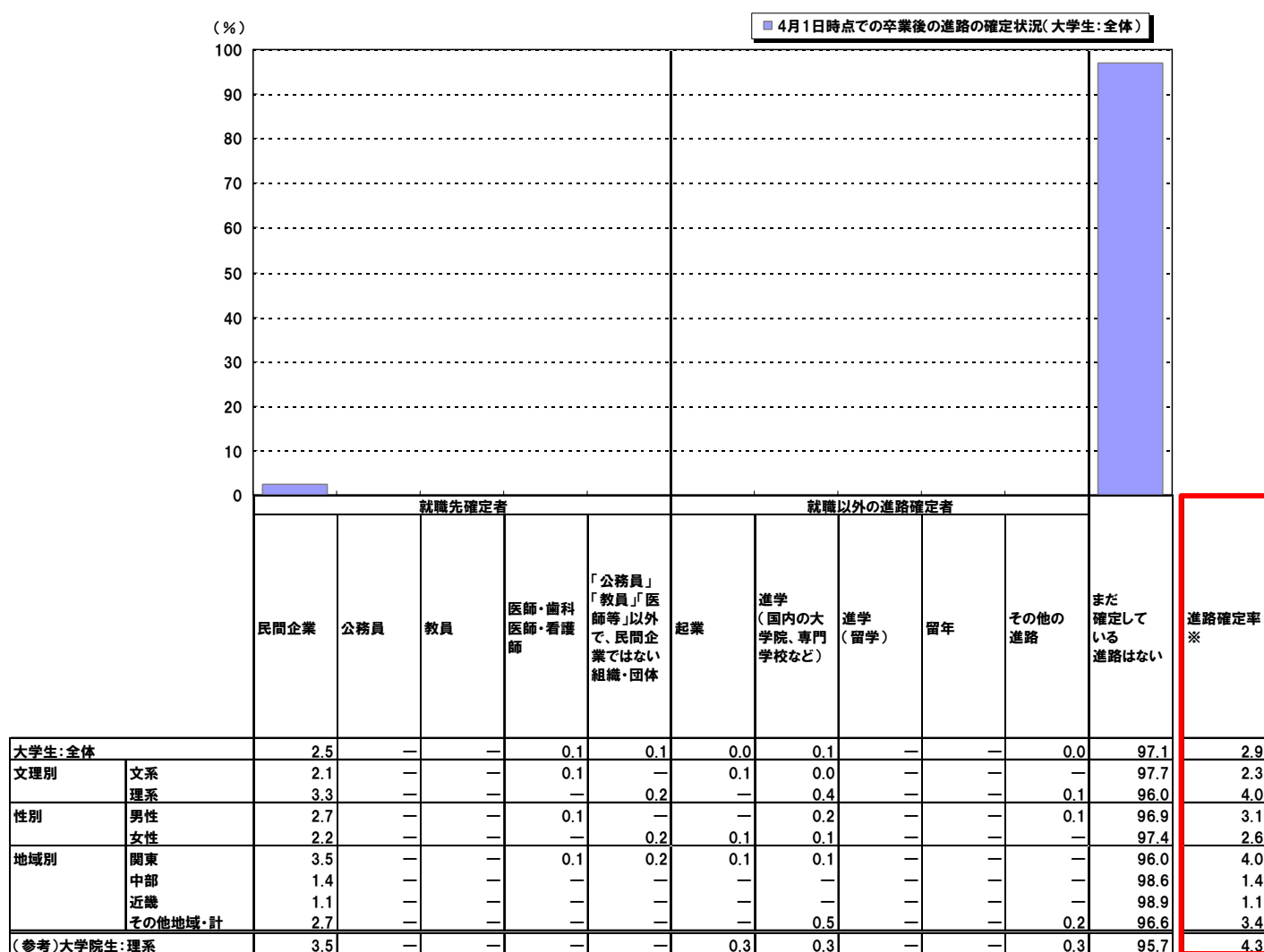
■『内定（内々定）を取得した社数の推移』
（各時点での内定取得の大学生/実数回答）



6) 卒業後の進路 進路確定率（4月1日時点）

- 大学生全体の進路確定率（※）（4月1日時点）は、2.9%であった。
✓就職先が確定した学生は、大学生全体の2.7%で、民間企業が2.5%であった。
- 理系大学院生の進路確定率（4月1日時点）は4.3%であった。
✓就職先が確定した学生は、理系大学院生全体の3.5%で、そのすべてが民間企業であった。

■『4月1日時点での卒業後の進路の確定状況』（全体/単一回答）



※「進路確定率」は、当初就職意向者のうち、4月1日時点での進路確定者（「就職先が確定[民間企業]/[公務員]/[教員]/[医師・歯科医師・看護師] [左記以外で民間企業ではない組織・団体]」「起業することが確定」「進学先が確定[国内の大学院、専門学校][留学]」「その他の進路が確定」「留年が確定」のいずれかを選択した学生）の割合